

## 木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事業評価について

平成27年3月に策定した、木津川市地域公共交通網形成計画(以下「形成計画」という。)に基づく事業について、平成28年度における事業の実施状況、効果や課題等を検証するため、別紙のとおり評価シートを作成しました。

### 【評価シートの記載項目】

1. 事業計画  
形成計画で定めている7つの施策を記載
2. 事業主体  
形成計画で事業毎に定めている事業主体を全て記載
3. 事業関係者  
各事業に係る機関、事業者名を記載
4. 事業目標  
形成計画で事業毎に定めている事業目標を全て記載
5. 事業内容  
平成28年度中に実施した事業内容を記載
6. 課題と評価  
平成28年度事業における主な取り組み成果、課題を記載

■計画事業評価シート

事業計画	施策1 コミュニティバスの運行	
事業主体	木津川市	
事業関係者	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社	
事業目標	年間利用者数 300,000人(平成31年度)	
事業内容	H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木津地域においてコミュニティバス(きのつバス)を運行</li> <li>・加茂地域においてコミュニティバス(かもバス)を運行</li> <li>・山城地域においてコミュニティバス(やましろバス)を運行</li> </ul>

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木津川市コミュニティバスの運行を継続したことで、地域住民の移動手段を確保することが出来た。</li> <li>・平成28年度全体の利用者数は、259,875人で、昨年と比較して、3,704人減少したが、一部の路線では利用者数が増加した。</li> <li>・加茂支所へのアクセス、地域住民の交通の利便性を考慮し、かもバス(当尾線を除く)路線の延伸、停留所の新設を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の減少が続いており、利用促進策の充実が求められる。</li> <li>・現行の運行ルートが最適であるか、検討を継続し、必要に応じてルートの見直しを行う必要がある。</li> </ul>
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		

事業計画	施策2 乗継利便性の向上	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社	
事業目標	鉄道ダイヤ改正時に随時実施	
事業内容	H28	<b>【コミュニティバス】</b> ・平成29年3月4日付けダイヤ改正を実施 かもバスの一部路線を延伸し、停留所の新設に伴いダイヤ改正を実施した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応  利用促進施策の展開	・鉄道の大幅なダイヤ改正が行われなかったため、一部路線のみダイヤ改正を実施。	・鉄道やコミュニティバスだけではなく、路線バスとの接続も考慮する必要がある。

事業計画	施策3 車両の利便性の向上	
事業主体	木津川市、奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社	
事業関係者		
事業目標	車両更新時に導入の検討	
事業内容	H28	<b>【路線バス】</b> ・新たに8種類の交通系ICカードを利用可能にした。(奈良交通路線バス、きのつバスおよびかもバス当尾線) <b>【コミュニティバス】</b> ・車両更新状況を確認した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への 対応  バリアフリー化の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス、コミュニティバスとも、車両の更新が必要ななかったため、実施しなかった。</li> <li>・利用可能なICカードの種類が増えたことにより利便性の向上が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の利便性を図るため、車両更新時にバリアフリー車両の導入やコミュニティバスの視認性を高めるためにラッピングを検討する。</li> <li>また、一般路線バスについてもバリアフリー車両を導入する。</li> </ul>

事業計画	施策4 情報提供の充実	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通だより：月1回発行</li> <li>・時刻表：年1回発行</li> <li>・バス標柱デザインの検討：検討数 211箇所</li> <li>・交通結節点での情報提供：市内主要施設で実施</li> <li>・ホームページによる情報提供：ポータルサイト開設</li> </ul>	
事業内容	H28	<p>【路線バス・一部コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良交通のスマートフォン版ホームページを開設、きのつバスおよびかもバス当尾線の時刻運賃案内にも対応。</li> </ul> <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通だよりを毎月発行した。</li> <li>・木津川市ホームページにおいて、継続して公共交通情報を発信した。</li> <li>・コミュニティバスの路線延長、バス停の新設、ダイヤ改正等に合せて、時刻表を作成した。</li> <li>・きのつバスが合流する木津駅～山田川駅間のバス停留所のレイアウトを変更した。</li> </ul>

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通だよりを毎月発行し、収支・利用状況、運行情報や沿線観光情報の掲載し、公共交通利用の啓発ができた。</li> <li>・市ホームページにコミュニティバスの情報を掲載することで、市外の方への情報を発信することができた。</li> <li>・わかりやすく利用しやすい時刻表を作成し、広報紙に折込み、全世帯に配布する他、公共施設や観光施設に配架する等一層の利用促進を図ることが出来た。</li> <li>・バス停留所のレイアウトを変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通だよりや市ホームページなどで情報発信、利用の啓発が出来ているものの、利用者数は年々減少傾向にある。</li> <li>今後、情報提供の内容などを見直し、より利用者の増加につながる取組みが必要である。</li> <li>また、本年度は特にきのつバス、かもバス当尾線の利用者が大幅に減少していることから、地域の特性や観光等の来訪者向けの利用</li> </ul>
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		

観光施設でのPR	<p>することで、利便性の向上が図れた。</p>	<p>促進が重要である。</p>
<p>地域公共交通を守り育てる意識の醸成</p>		

事業計画	施策5 利用機会の提供	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	乗り物体験学習：市内小学校で年1回実施 1日フリー乗車券の発行：年間2,000枚販売	
事業内容	H28	<b>【コミュニティバス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校を対象とした乗り物体験学習（高の原小学校、相楽台小学校）を実施した。</li> <li>1日フリー乗車券の販売を継続するとともに、販売場所の追加を行った。</li> <li>観光施設と連携した利用促進。</li> </ul>

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日フリー乗車券を継続して販売することで、乗継利便性の維持、向上が図れた。平成28年度は3,495枚の販売があり、販売開始から累計1万枚を達成した。また、販売場所を追加し、より購入機会が増えるよう努めた。</li> <li>市立小学校の2校で乗り物体験学習を実施し、児童への公共交通の利用及びバス乗車時のマナーの啓発が出来た。</li> <li>観光利用の促進に貢献した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日フリー乗車券の販売枚数は、毎年増加しているものの、販売場所や利用方法がわからないといった声もある。今後、販売場所への案内方法や利用方法の周知等の検討が必要である。</li> <li>小学校での乗り物体験学習については、実施内容が、毎年同様の体験とマナー啓発のみである。他市の事例を参考にしながら、内容の充実を検討する必要がある。</li> </ul>
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策6 市民意識の変革	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	ワークショップ座談会の開催：年1回	
事業内容	H28	<b>【コミュニティバス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地域住民を対象としたワークショップを開催した。</li> <li>・市内老人クラブに対し、コミュニティバス運行状況等の説明を実施した。</li> </ul>

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂町瓶原地域住民を対象に、ワークショップを開催し、バス利用者の意見を聴取することができ、かもバス路線の延線、バス停留所の新設につながった。</li> <li>・老人クラブに対して、コミュニティバスの概要、利用状況等を説明し、バス利用の意識向上が図れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者意見を基に、住民の利便性の向上が図れたが、市民意識の向上に向け、今後も説明会やワークショップを継続していき、実施可能な意見・施策に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		



事業計画	施策7 魅力の発信	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社 東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	急行バスと連携したPR	
事業内容	H28	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR奈良駅西口～浄瑠璃寺間の急行バスを運行、急行バスで利用可能な「世界遺産1Day Pass」を販売した。</li> </ul> <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かもバス当尾線において、急行バスとの接続を考慮したダイヤによる運行を継続した。</li> <li>・当尾地域の寺社である浄瑠璃寺や岩船寺に案内板を設置し、急行バスと連携した地域内の回遊を案内している。</li> </ul>

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における 地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急行バスの運行、お得な乗車券の販売により当尾地域への送客に努めた。</li> <li>・急行バスとの接続を図ることで、回遊性を高め、コミュニティバスと急行バスの利用の相乗効果を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かもバス当尾線の利用者は減少しており、急行バスとの連携したPRを強化する必要がある。</li> </ul>
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
観光施設でのPR		